

下郷中 PTA 会報

令和元年度
後期

第92号

編集発行 校
下郷中 学
父母と教師の会
編集発行
会長 星 学
編集発行
広報委員会

- PTA副会長より
- 教頭より
- 各委員会より
- お世話になった方々より

- 一面 ○【特集】子から親へのメッセージ 四面
- 二面
- 三面

達人大観！

PTA副会長 佐藤加代子

日頃はPTA活動にご理解ご支援をいただき、誠にありがとうございます。保護者の皆さまのご協力により、今年度も下中祭をはじめ、様々な行事を滞りなく行うことができました。

さて、今夏2020年東京五輪・パラリンピックが開催されます。聖火リレーが町内を駆け抜けますし、国立競技場完成や候補選手決定のニュースを目にする機会も増えてきました。いよいよ近づいてきていることを実感し始めているの

ではないでしょうか。

前回五輪が開催された五十六年前、テレビの普及率はまだ九十%程度、ですから家族全員（もしかしたらご近所さん）も茶の間に集まり、テレビにかじりついていたり、かもしれない。私の母もそんな話のついでに、「宝物」だといって当時発行された記念硬貨を孫たちに見せてくれました。今や世の中はキャッシュレス時代、子供たちが初めて目にしたその硬貨は、「二万円玉！使えるの？」目をギラギラさせる息子。母も自慢げに当時の話をいろいろ教えてくれました。

そこで提案です。一台のテレビに集合、家族・

友人揃ってオリンピックを見ませんか。スマホを手に、それでも良いでしょう。世代や視点が異なると、いろいろな意見や考えが出てきます。そもそも「会話」というより言葉を発する機会が減ってしまつてはもったいない。ツールを駆使して楽しみ方を工夫してみませんか。

時代

教頭 青田亮一

家読（うちどく）の機会に恵まれ、昔何度も読んで司馬遼太郎さんの「竜馬がゆく」を読み返しています。その一節『世に生を得るは事を成すにあ

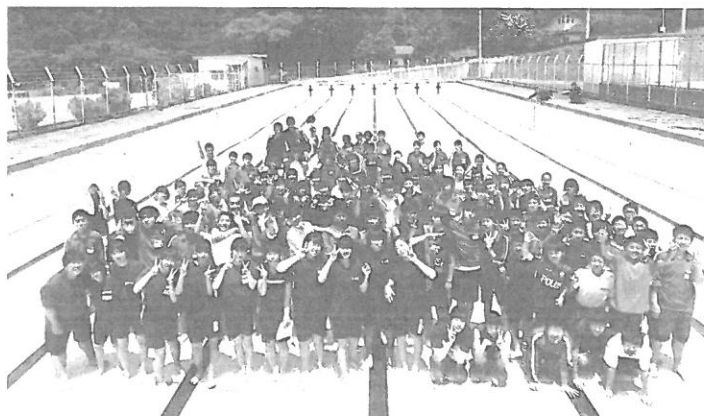
り』という言葉が気に入りで、三年生の問題集の表紙にも掲載中です。激動の幕末に躍動した人々は、立場によって目指すものは異なれど、それぞれ情熱に溢れ、理想を求めて生きていたのでしょう。時代の先端を走り、命運は天に任せて突き進む姿に感心させられます。文字通り命がけの時代、勝てば官軍、負ければ…。中には自分の意思とは関係なく時代にのみ込まれ、不運を辿った人々も多かったことでしょう。でもそうして時代は築かれてきました。

さて現代社会は、幕末とは全く違いますが、ある意味激動期に突入したのではないかと思います。

ます。国の内外を問わず、課題は山積し、将来の見通しを持ちづらいと感じます。もちろん身近な社会でも…。

和を大切にしつつも、自分の思いを成し遂げる。そんな生き方をしてみたいと思います。日々の仕事に臨んでいます。

暗模索の世の中かもしれないが、時代は作り上げられていきます。漫然とくらし、時代に流されるのか、目標や理想を掲げ、事を成そうとするのか。竜馬はこうも言っています。『世の中の人は何とも言わば言え。我が成すことは我のみぞ知る』彼のブレない心の強さを感じます。人の



各委員会より

研修委員会の活動
を振り返って

研修委員長 星 アユ美

研修委員会の活動は、「わが家のふれあい訓」の募集と選考、南会津郡 PTA 連合会研究大会の参加でした。ふれあい訓の選考は先生方と委員と共に、作品に一つ一つ目を通し選考しました。各家庭の決まり事や絆を作品にしたものを読ませて頂き、家族とのつながりを作品にする事は良い機会だと改めて感じました。

八月に行われた南会津郡 PTA 研究大会は、伊南大会で会場は御蔵入交流館でした。今年度は、伊南小学校父母と教師の会が主管となり、江川小・南会津中・田島中・南郷小・朝日小が、発表テーマに沿って地域や学校の紹介、PTA 組織の活動の発表をして、各学校、地域ならではの行事等がわかりやすくパンフレットに掲載されて、大変興味深く勉強になりました。記念講演

では、暁の星幼稚園の山本恭士先生から「体験活動子ども塾」実践報告・いろいろやってみよう南会津に生まれ育ったことが幸せだと実感できる子どもを指して「をテーマに、昔のあそびについてお話しされました。子供の頃に、昔のあそびを体験する大切さと、自然にふれる事の尊さを思い出す事が出来ました。楽しい講演でした。この様な大会に参加出来て、地域と家庭と学校をつなぐ PTA の大切な活動を改めて知る事が出来ました。

最後に、先生方、研修委員の皆様、一年間大変お世話になりました。私にとつて、研修委員長は貴重な体験となりました。ありがとうございました。

今年度の活動を
振り返って

生活指導委員長 星 彦彦

生活指導委員会の主な活動として、会津田島祇園祭での巡回警備活動がありました。今年度は、蒸し暑さに加え、時折の雨に見舞われながらも、無事に終

えることが出来ました。これも委員の方や先生のご協力が無ければ実現しなかったと実感しています。

また、「子供達がお祭りを気持ちよく楽しめるのは、保護者や先生方ばかりでなく、大勢の大人達によつて見守られているからこそである事を子供達自身も感じてほしい。」「君たちが間違いをする前に論じてくれる人こそが、君達にとって大切な人だということとを忘れないで生きてほしい。」と、委員長という立場で活動を経験したことで改めて実感いたしました。

子供達のために
繋がる活動

厚生委員長 小原 あゆみ

厚生委員会では、町 P 連レク大会と下中祭バザーが大きな二つの活動です。

町 P 連レク大会は、参加者募集→チーム編成→大会参加となり、六月の大会では事前募集で人数が少なく、当日会場で快く御協力いただけた方に加え、7

チーム二十一名の参加ができました。保護者、先生方、生徒で、ボールの投げ合いの駆け引きをどのチームも和気あいあい楽しむことができ、結果見事優勝することができました。

下中祭バザーは、バザー品物提供のお知らせ→前日の値付け→当日の販売となり、今回も保護者、先生方から多数の品物を提供していただき、昼食時の短時間の開催に大勢の方に購入協力していただきました。

どちらの活動も、賞金一万円とバザー売り上げ四万四千七百五十円を得ることができました。このお金は部活動のユニフォームや物品購入の一部にあてられるとのこと、一人一人の協力が子供達のために繋がっている流行のワンチーム精神を実感できる活動となりました。

年々 PTA 会員数も減少し、レク大会参加者やバザー品の収集も厳しくなっていますが、皆様のご協力が子供達のために繋がることを御理解いただき今後とも協力いただけたらと思います。

最後に、厚生委員の皆様、先生方、今年度の活動、大変お世話になりました。

また、厚生委員会の活動にご協力いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

一年間ありがとうございました
ございました

広報委員長 渡部 美枝子

今年度の広報委員会の主な活動は、前期、後期と年二回の PTA 会報の発行です。委員会では、会報の内容と編集方針、発行までの日程等についての話し合いを四回開催しました。活発な意見や提案を出し合い、皆様に楽しんでいただける会報作りという気持ちで、協力しながら活動する

ことができました。今年度後期の会報は、お世話になった学校関係者の方にも温かいメッセージをいただきました。また、昨年引き続き、三年生による子から親へのメッセージを掲載しております。中学校最後の目頃言えない感謝の気持ちや、いまの気持ちを親に伝える、心のメッセージとなつていのではないのでしょうか。ぜひご家庭でご覧いただき、三年間の思い出話に花を咲かせていただければ幸いです。

この会報をおとして、学校を知り、こどもたちの様子や思いを知るきっかけになればと思います。今度とも、さまざまな意見をいただき、よりよい会報にしていきたいと思っております。来年度また委員が代わりましてどうぞよろしくお願いたします。

最後に、ご多用のなか、原稿依頼や写真選別に御協力くださった先生方、原稿を執筆していただいた先生方、そして保護者の皆様に、委員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

お世話になった方々より

*今回は、三年生に関わってくださった方に書いていただきました。文集「雪ん子」に贈る言葉が載っていますので、ぜひご覧ください。

故郷の味

栄養教諭

高木 晴子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は今年の四月に南相馬市から転勤してきました。下郷町に勤めるようになった、通勤途中の景色の素晴らしいことや、地元のおいしい食材を給食の献立にたくさん使用できることの素晴らしさなど、いろいろなことに感動しました。それというのも、私の地元である南相馬市では、東日本大震災にともなう原発事故の影響で、身近な食材でも放射能検査をしないと食べることができない状況だからです。下郷町は幸せに暮らせる町なのだと、しみじみ思います。こんな素晴らしい下郷町で暮らしている皆さんは、地元伝

わる郷土料理や、地元でとれる作物をいくつ知っているでしょうか。なぜこんな質問をするかというと、給食で地元の特産品を使った献立を出そうとしたときに、生産者が減ってしまった、特産品は減った、すでに手に入らない食材になってしまっているという現実直面したからです。故郷を守り、伝統を伝えていなければ、皆さんが大人になる頃には、故郷の料理や食材が食べられないということになるかもしれない。皆さんは今、巣立ちの時を迎えますが、それと同時に、下郷町の素晴らしさについて見つめ直してほしいと思います。そして、自分が子どものころに食べた故郷のおいしい料理や食材を、自分の子どもたちにも伝えていってほしいと思います。

三年生との楽しみ

支援員

我妻 百合

四年ぶりの下郷中学校

の勤務となりました。生徒として三年、職員としてトータル九年目となります。私も本校の卒業生ですが、当時はクラス四十五人という教室内はビッシリの机が並んでいました。現在は二十人程のクラスに加え今年度はエアコンが設置され、また、電子黒板の活用で皆さんの情報表示等で楽しく学習している様子が見られました。(私も今の時代に生まれたかたと思う今日この頃……だったりもする)

そんな中で、三年生との関りは少なかったのですが、清掃時や、下校時のバス待ちの時間などで会話が弾み、楽しませて頂きました。初めはあまり近づいてこなかった生徒も、声を掛けていくうちに進んで話しかけてくれるようになり、ゲームやアニメなど子供たちの趣味や余暇の話で盛り上がりました。

とも、心の肥やしだと思えます。これから大きな夢と希望という新しい畑を耕し大きく大きく広げ、たくさん肥やしを蒔いて素敵な心の成長を想像し自分づくりをして欲しいと思います。皆さんの活躍を楽しみにしています。

卒業おめでとうございます。



つもり違い

支援員

五十嵐 美恵子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。二年間皆さんと一緒に過ごせてとても楽しかったです。沢

山のいろいろな行事に一生懸命頑張っている姿が、とても輝いていました。その姿に、私も元氣とパワーをもらって頑張ることができました。ありがとうございました。友達と協力し合ったり、喧嘩をしたり、誤解をしたり……と人は時にすれ違ふことがあります。そんな時、いつも思うことがあります。

「つもり違い十二訓」

高い様で低いのが教養
低い様で高いのが気位
深い様で浅いのが知識
浅い様で深いのが欲の皮
有る様で無いのが反省
無い様で有るのが七癖
多い様で少ないのが分別
少ない様で多いのが無駄
厚い様で薄いのが人情
薄い様で厚いのが面皮
強い様で弱いのが根性
弱い様で強いのが意地

「つもり違い十二訓」を思い出して、相手の気持ちになつて考えようと、素直になつて「ありがとう」「ごめんささい」と言つて楽になれると思います。思いやりの心を持つて、失敗してもくじけずに頑張つて欲しいです。



【特集】

子から親への
メッセージ

ふだんはなかなか
言えないけれど、ちよっぴり本音を伝えよう

▼今までの十五年間、本当にありがとう。たくさんの迷惑をかけましたね。朝全然起きなかつたり、ライブに行きたいとわがままを言ったり大変な娘だったと思います。これからはできるだけ迷惑をかけないよう頑張るので、応援してください。

大竹未唯奈

▼私が心身ともにここまで成長できたのは、両親のおかげです。日頃の生活からたくさんの方で支えていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。九年間本当にありがとうございます。これからもよろしくお願います。

小椋理央

▼積雪や降雨の時に送迎えありがとうございしました。朝ごはんや洗濯などありがとうございました。

小椋 凜

▼僕は昔から家族のことが大好きでした。僕がインフルエンザにかかった時はみんなが心配して看病してくれましたね。その時は苦しくて何も考えられなかつたけれど、今はとても感謝しています。今まで本当にありがとうございました。

小山 紘

▼今まで僕のがままをたくさん聞いて、こまで育ててくれて本当にありがとうございました。高校では、今まで以上に迷惑をかけると思います。感謝の気持ちを様々なところで伝えようと思います。これからもよろしくお願います。

要 海

▼今まで十五年間育てられて、本当にありがとうございました。これから僕は、いわきの高校に進学します。寮生活になりますが、寮のお金などいろいろこれからよろしくお願います。

齋藤夏輝

▼毎朝起こしてくれたり、公文の送迎をしてくれたり私のためにたくさんのことをしてくれてありがとう。これからは栃木で寮生活をするので今までより関わるのが少なくなるけど、応援よろしくお願います。

佐藤一心

▼私はこの十五年間生きてきてとても幸せです。母へ。いつも学校のことで支えてくれてありがとう。父へ。いつも夜遅くまで働いてご苦労さま。そしてありがとう。普段言葉にしないけど、私はこの家庭に生まれてきてとても良かったです。

佐藤華梨

▼この下郷中学校に入学してから、三年間いろいろなことがありました。特に部活動の時の送迎で、遠

い所まで朝早くでも送って行ってくれたことなど、何気ないことをたくさんしていただきました。本当に感謝しています。

佐藤幹太

▼僕はお母さんに感謝しています。毎日忙しいなかで、料理、洗濯などをしてくれてありがとうございました。僕は家から離れての生活になります。母、祖父、祖母の家族に支えられていることに感謝して生活したいと思います。

佐藤心雅

▼お父さんお母さん今まで私を育ててくれてありがとう。両親には、いつも自分のことで毎日辛い思いをさせてしまったと思います。私はこれからも何

度も迷惑をかけてしまいかもしれませんが、よろしくお願います。

鈴木あおい

▼三年間お世話になりました。部活動の送り迎えや受験勉強のしやすい環境を作ってくれてとても感謝しています。これから今まで以上にたくさん迷惑を掛けてしまうかもしれないですが、温かく見守ってください。

玉川かれん

▼まず最初に十五年間ありがとう。この十五間はスポーツも部活動も好きなことをさせてくれて感謝しています。人一倍お金を使いききた気がしなくもないです。いつ、どんなときも私を信じて育ててくれてありがとう。出世払い頑張ります。

星 愛蓮

▼十五年間たくさん迷惑かけたと思いますが、今まで育ててくれてありがとう。今現在では、まだ合格はわからないけど、絶対に合格してみせるので、これからも応援よろしくお願います。

星 幸晴



▼今さらこつぱずかしくて直接は言えないけど「ありがとう」。毎日夜遅くまで仕事をして、朝飯出してお金出して、今考えると自分は良い両親を持ち、良い生活を送っていたんだなあと感じます。あと数年迷惑をかけるけどよろしく。

星 秀人

▼父の背中を見て育ち、良い意味で適当に今まで生きてこれました。また、動物と高齢者にやさしくしながら生きてきました。ありがとうございします。私は父のような寛大な人になりたいです。これからもどうぞよろしくお願います。

星千明希



▼毎朝、私をベッドから起こしてくれたり、朝ごはんを作ってくれたりしたことに感謝しています。また、高校のことなどで、毎日のように心配をかけてすみませんでした。でも、ありがとうございました。

星 礼

▼母には口頃から食事、清掃や送迎などでお世話になっていきます。父には塾の送迎などでお世話になっていきます。両親には日々感謝しているのを、それを高校入試の第一希望高校合格という形で表したいと思います。

室井 堅

▼家にいる時、だれよりもうるさかった私の話を自分のことのように聞いて

くれる両親がいたから、いつも笑顔で生活することができました。こんな私を大切に育ててくれてありがとう。これからたくさん迷惑かけると思うけど宜しくね。

室井 凜

▼今まで僕を育ててくれて、また、朝が苦手な僕を、毎朝起こしてくれてありがとうございました。僕は家族のおかげで、中学校生活をとて楽しく生活することができました。三年間ありがとうございました。

湯田 翼

▼中学校に入学する時、新しい生活を送れる喜びと新たに始まる人間関係に不安を感じていた時、お父さんやお母さんの明るい言葉で不安がなくなりました。三年間いろいろな元気に育ててくれてありがとう。

渡部玄太郎

▼私が三年間中学校に通い続けることができたのは家族のおかげだと思っています。これからの迷惑をかけてしまうかもしれませんが



せんが、頑張りますので、よろしく願います。

渡部愁羽

▼お父さん、いろいろしてくれてありがとう。お父さんの作ってくれた米や野菜はおいしいです。小さいころ一緒にマイクで歌ったのを思い出します。私は四月から遠くの学校に行くけれど、体に気を付けてばあやと仲良く暮らしてください。

佐藤由梨

▼とても楽しい中学校生活は、毎日の朝ごはんや勉強に必要なものをすぐに買ってくれたりするなど、僕が生活しやすいようにしてくれたお父さんお母さんのおかげです。これから勉強を頑張ります。三年間ありがとう

ございました。

渡部 洸

▼いつも親に迷惑ばかりかけて申し訳ないです。いつも本当に「感謝」しかありません。十五年間育ててくれて、ありがとうございます。これから迷惑をかけるとありますが、何卒よろしく願います。

阿久津弘人

▼三年間ありがとうございました。自分は不器用なので、気持ちを切り替えられずに上手いかなことがたくさんありましたが、毎日寄りそってくれて本当に感謝しています。これからもよろしく願います。

阿部優志

▼あまり勉強のことを言う親じゃなかったけど、私以上に心配していて、気づかないうちにたくさん困らせてごめんさい。これからは、あまり困らせないように頑張ります。これからもよろしく願います。

大竹 望

▼学校への送迎や、部活動の送迎ありがとうござ

ました。いろいろと、怪我をしたりして迷惑をかけることもあったけど、優しく支えてくれてありがとう。これからも、迷惑をかけるかもしれないけど、これからもよろしく願います。

佐藤育大

▼いつも反抗して迷惑ばかりかけてごめんね。本当はとても感謝しているし、大好きです。志望校を決めるとき、たくさん背中を押してくれて、支えてくれてありがとう。二人に恩返しできるように、がんばります。これからもよろしくね。

小山 翔

▼十五年間育ててくれてありがとうございます。今までいろいろ迷惑をかけたかとも思います。これからも迷惑をかけるのでよろしく願います。

北 龍晟

▼お母ちゃんへ。色々相談に乗ってくれてありがとう。迷惑をかけるかもしれませんが、これからもよろしく願います。おとうへ。今まで色々な事を教えてくれてありがとう。受験では、良い報告が出来るよう勉強を頑張ります。

齋藤由記

▼もうすぐ卒業です。こまで元気に育ってこられたのも、最高の仲間と過ごせたのも全部お母さんとお父さんのサポートがあったからです。ありがとうござ



いました。これからも迷惑をかけてしまいますがよろしく願います。

白川順姫

▼「時は金なり」という言葉があるように、家族との時間はまさにそれでした。部活や各大会、日常生活においては、両親に迷惑をかけることがとても多く、苦勞をかけまし



た。直接は言えないけれど、心から感謝しています。ありがとうございます。

玉川翔也

▼いつも困らせてごめんね。忘れ物をした時、学校に持ってきてくれたり、バスに乗り遅れた時、送ってくれたりして、ありがとうございます。これからも困らせるかもしれないけど、よろしくお願いします。

星 智博

▼口を開けば文句ばかりを言っていた十五年間。二人にはとても迷惑をかけました。そんな時に言ってくれた言葉を一つ一つ忘れず、将来生きていく上で大切にしていきたいと思っています。これからも迷惑をかけますがよろしくお願いします。

お願いします。

星 奈緒

▼いつも、私が好きなことややりたいことをたくさんやらせてくれてありがとうございます。これからもたくさん苦勞をかけると思いますが、よろしくお願いします。将来、立派な大人になって、絶対に親孝行するので、待っていてください。

星 風紗

▼育ててくれたばあちゃんには洗濯などをしてもらい感謝しています。ありがとうございます。そしてこれからもよろしく。少しは恩返しできるように頑張ります。

室井 弾

▼私がここまで成長することができたのは家族の支えがあったからです。いつも勉強や進路について心配してくれてありがとうございます。これからもたくさん迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくお願いします。

室井 虹美

▼十五年、自分を産み育てて下さり、感謝しかありません。これからは、自身や二人の世話をしな



がら自立をしていこうと思うので、自分を頼ってください。これからもたくさん迷惑をかけるかもしれませんが、これからも見守っていてください。

室井 陸

▼本当に、毎日ありがとうございます。の一言です。自分の仕事と僕たちの子育ての両立を、十五年以上も続けてきてくれたことには、感謝しきれないほど感謝しています。迷惑をかけることも多いと思いますが、これからもよろしくお願いします。

湯田 圭祐

▼いままでの十五年間、毎日僕を育ててくれてありがとうございます。学校でつらいことがあった

時は、家族に強く当たってしまふこともあり、たくさん迷惑をかけてしまいました。これから少しずつ親孝行していきますので、よろしくお願いします。

湯田 大誠

▼中学校三年間は勉強、部活と、とても忙しいものになりました。それでも、朝早くご飯の準備をしてくれたり、勉強しやすい環境を作ってくれて、とても感謝しています。たくさん迷惑かけるとは思います。これからもよろしくお願いします。

弓田 綾乃

▼いつも洗濯をしてくれてありがとうございます。毎日清潔に健康に過ごせます。いつもおいしいごはんを作ってくれてありがとうございます。毎日腹いっぱいまで食べられます。いつもありがとうございます。とても助かっています。

弓田 泰地

▼今までドジなことばかりして、ほめられるようなことなんて全然できませんでした。そんな私

をここまで育ててくれてありがとうございます。高校に入学しても、迷惑ばかりかけるかもしれないけど、何卒よろしくお願いします。

渡部 明意

▼いつもいつまでたっても受験生らしくならない私を叱ってくれてありがとうございます。いつも流れて心にもないことを言ってしまうけど、叱りながらもなんだからで支えてくれるお母さんに感謝しています。こんな息子だけでもこれからもよろしく！

渡部 素也



編集後記

今年度最後のPTA会報はいかがでしたでしょうか？

今回も三年生より家族へ向け、感謝の気持ち綴って頂きました。普段はなかなか言えない言葉を伝えられる良い機会になったのではないかと思います。今回の会報発行にあたりお忙しいところご協力いただいた皆様に広報委員一同厚く御礼申し上げます。

